

2021年3月5日 巣鴨図書館発行



桜の開花が待ち遠しい季節となりました。巣鴨図書館の前庭は、桜とベンチが人気のスポットです。今年も満開の桜が皆さんをお迎えいたします。今しばらくお待ちください。

その前庭を昨年4月から「すがもがーでん」と称し、プランターを利用して野菜や草花を栽培しています。夏にはなす・ミニトマト・などを収穫し、現在はキャベツ・ブロッコリーなどを育てています。利用者の方々からも好評をいただき、日々その成長を楽しみにしているところですが、先日、夜間にそのプランターを意図的に転倒させる悪質ないたずらが発生しました。翌日、警察に通報し巡回の強化を依頼するとともに、独自の防犯対策を準備することいたしました。

利用者の方々快適に過ごすことができる施設であり続けるために、引き続き安全・安心な図書館運営に努めてまいります。

(館長)



マスクを外した顔をなかなか見ていただけません(>_<) お披露目できる日がくることを信じて...

イラスト作 S

SDGsを考えよう！



今月は、児童向けのイベントを4つ予定しています。
※シールアンケートは、大人も参加できます。

SDGs展示

「SDGsって何だろう？」

シールアンケート

「みんなの考えをきかせてください！」

ワークショップ

「みんなでGsくんをつくらう！」

SDGsおはなし会

「絵本からSDGsを考えよう！」

各イベントの詳細は、館内ポスターや、図書館ホームページをご確認ください！

編集後記

創刊準備号から間もなく1年が過ぎようとしています。「コロナと共に？」の1年でしたが、4月号からは、プチリニューアルを予定しています。キーワードは、「ほっこり元気」。どうぞ、お楽しみに！(M)

「すがもがーでん」だより

すがもがーでんは、冬野菜の収穫期、そして春を告げる花、菜の花（表紙を飾っています）がずくずく育っています。野菜は、土の下で育つものも多いのですが、寒さにもコロナにも負けず、りっぱに育ってくれました。ご来館の際は、是非足を止めてみてください。



さてなんでしょう？
とっても身近なお野菜です。

じぞうくんの食レポリレー



巣鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式で紹介していくコーナーです。

<おやつがほーいどっさりほい>

絵本『おやつがほーいどっさりほい』を読むと、子ども時代に食べたおいしいおやつを思い出します。絵本では「おやつがほーいどっさりほい プリンにクッキーホットケーキ」と歌う女の子に誘われて、食いしん坊きつねがピクニックに同行します。おやつをどっさり食べるために奮闘するきつねがおかしく、楽しい絵本です。私は、食いしん坊きつねに負けず劣らず、本当にたくさんおやつを食べた子どもでした。大好きだったのは母が作ってくれた揚げたての小麦粉を使ったお菓子。小麦粉に砂糖を混ぜて、油の中にスプーンであるく落とし、きつね色にあがったら出来上がり。母はそのおやつを、それこそ、どっさりとするのでした。冷めてもしっとり美味しいのですが、出来たてはカリカリでとっても美味しく手がとまりません。私は、最高で17個食べた記憶があります！当時、母はそれを「さとうてんぷら」と呼んでいました。そのおやつが母親の故郷・沖縄の「サーターアンダギー」だと知ったのはずいぶん後になってからのこと。今ではサーターアンダギーミックスなるものが売っていて、東京でも手に入りやすくなっています。出来たてカリカリのサーターアンダギーがボールにどっさり。私の子ども時代の幸せな思い出です。

料理が得意な方には「おばあ」の愛称で親しまれた故平良とみさんの『おばあ好きな沖縄ちゅら料理』がおすすめです。サーターアンダギーの作り方も載っています。(T)

テーマに合わせた図書館蔵書をご紹介します

お役立ち本

『おやつがほーいどっさりほい』
梅田俊作／さく 梅田佳子／さく
新日本出版社（E9X）
『おばあ好きな沖縄ちゅら料理』
平良とみ／編 ソニー・マガジンス
※中央図書館所蔵

じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ほくはじぞう。
心にうつりゆく
ちょっとした疑問を
ここでつぶやいていくよ。

本や図書館が好きなじぞうくん。なりたい職業はもちろん図書館司書！かと思ったら、全然その気はないようです。が、友達に聞かれて、図書館司書について調べることにしてみたいですよ。

図書館はよく行くけど、図書館司書さんになる方法は全然知らないんだよね。友達に聞かれたから、ちゃんと調べてみるよ。仕事や職業の本は3類で366のあたりかな。中高生向けには、ペリかん社の「なるにはBOOKS」からスタートするよ。

①の本を見てみると、図書館司書になるには司書資格があった方がよさそう。司書課程のある短期大学・4年制大学を卒業するのが近道かな。図書館に詳しくなるための本は0類、015のあたりだから、読んでみると役に立つね。②の本なんか、参考になるね。公共図書館の場合、図書館司書は公務員であることが多いけど、公務員になっても、図書館に配属されるとは限らないっていうのが、むづかしいところだよ。大学図書館など、図書館にも色々あるし、見学できる場所は実際に行ったりして、よく調べてから進路を考えるのがおすすめかな。僕は図書館と司書さんにはお世話になっているし、いつも頼りにしています！これからもよろしくね。

じぞうくんが読んだ本はこちら

- ①『司書になるには 森智彦／著 ペリかん社』
(Y366 ナ)
- ②『図書館で調べる』高田高史／著 筑摩書房
(Y015 タ)

じぞうさんぽ

<駒込→巣鴨境い目行脚>

2021年2月某日、昼過ぎのJR駒込駅。東口の商店街と駒込図書館に寄り道した後、霜降銀座に向かう。駅前から本郷通りを北へ5分、『しもふり』アーチをくぐる。さすがにこのご時世、飲食店は休業やお持ち帰りのみのところが多いが、スーパーや小売店は元気に営業中のように一安心。お店や路地を眺めながらぶらぶら歩いていると、3分ほどで少し広い道に出た。頭上には、入り口より大きめの看板が。そしてその隣からは、『そめいぎんざ』と書かれた小さな看板が街灯ごとにつけられている。霜降銀座（北区）と染井銀座（豊島区）の境はこのようだ。そのまま染井銀座を散策していると、左側に染井コミュニティ広場が見えてきた。実はここ、猫公園として一部で有名。植え込みに囲まれたコンクリートの広場は閑散としていたが、奥まで行ってみると、隅の藤棚の下から恰幅のいいもふもふの黒猫が顔を出した。首輪をしている。地域猫だろうか。地元の皆さんにかわいがられているらしく、大変友好的。ありがたく撫でさせていただく。

染井銀座の終点は、豊島区と北区の区境の道だった。左折して道なりに進み、北区西ヶ原の公園で休憩。道を渡って豊島区側に戻り、すぐ近くの染井霊園へ。岡倉天心のお墓でも行ってみようかと、駒込図書館でもらった霊園のパンフレット（駒込図書館作成）を開くと、何と！あの、ウルトラマンの監督、実相寺昭雄氏のお墓があるというではありませんか！（下記『ぶらり中山道巣鴨』より引用とのこと）感激しつつお参りの後は、巣鴨方面の出口へ。白山通りを渡り、高岩寺で観音様の目肩腰を洗わせていただいて、ようやく帰途に就いた私であった。(A)

旅のお供に
おすすめ
の図書館
蔵書をご紹介します

ともぼん お供本

『東京商店街さんぽ VOL.1』 秀和システム (291.3 サ)
『ぶらり中山道巣鴨—歴史・文学散歩—』
豊島区 (910.2 イ)
(2冊とも、2F巣鴨特色棚にあります)